

2025 年日本国際博覧会 情報通信インフラ基本設計業務の 公募型プロポーザル方式による事業者選定結果について

本事業について、公募型プロポーザル方式により事業者を募集し、下記のとおり最優秀提案者（契約交渉の相手方）を選定しましたので、お知らせします。

1. 審査手法

事業者（1 者）から提案のあった内容について、4 名の評価委員による審査を行い、最優秀提案者を選定しました。なお、審査にあたっては、令和 3 年 9 月 6 日に事業予定者プロポーザル評価委員会を開催し、プレゼンテーション及び質疑応答を通して、評価委員による採点（100 点満点）を行いました。

2. 審査結果

（1）最優秀提案者（契約交渉の相手方）

西日本電信電話株式会社 評価点 85.5 点 （提案金額 税込 70,400,000 円）

（2）提案事業者（五十音順）

西日本電信電話株式会社

3. 最優秀提案者の選定理由（講評）

- ・立地上の懸念事項、2025 年時点の先進技術の取り込み、万博終了後の技術展開等について配慮された提案である。
- ・ユースケースの提示など万博参加者との連携を踏まえた設計が計画できている。
- ・過去の同種事業の経験が豊富であり、大阪・関西万博の基本計画を深く理解している。

4. 評価委員会委員

（敬称略）

氏名	所属・役職	選任理由
門林 雄基	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 情報科学領域 サイバーレジリエンス 構成学研究室 教授	ネットワークやソフトウェアに関する幅広い見識から提案内容の技術的な側面について適格性・妥当性を審査いただくため。
荒川 伸一	大阪大学大学院情報科学研究科 准教授	大規模、分散制御型の光ネットワークの見識から提案内容の技術的な側面について適格性・妥当性を審査いただくため。
藤岡 亮	川村・藤岡綜合法律事務所 弁護士	法律の専門家の立場から、提案内容の適格性・妥当性を審査いただくため。
岩田 泰	2025 日本国際博覧会協会 経営企画室 室長	万博開催者の立場から、提案内容について総合的に審査するため。

以上